

マイナカード混乱

保険証廃止は中止・撤回を



記者会見する小池晃書記局長（6月23日・国会内）



記者会見の動画はこちらからご覧下さい



混乱が広がるマイナ保険証。

日本共産党の小池晃書記局長は23日の記者会見で、マイナカードの普及ありきで自治体や健康保険・年金の諸団体にひも付け作業を急がせ、トラブルが多発した責任を、政府としてきっぱり認め、反省すべきだと指摘。

「不安を払拭するというのであれば、来年秋の保険証廃止はきっぱりと中止・撤回すべきだ」と強調しました。

別人の情報ひも付け「命にかかわる」

開業医の多くが加入する全国保険医団体連合会の調べでは、マイナ保険証に別人の診療情報がひも付けられていた事例も多数発見されています。別人の情報に基づいて医療行為や薬剤投与が行われれば命に関わります。

窓口で10割負担も

患者の保険資格を確認できず「10割負担を請求した」ケースは同会の調査・推計で1291件にのぼりました。

マイナンバートラブル 追及チームを立ち上げ

小池氏は、保険証と同カードを一体化したマイナ保険証のメリットを大半の利用者が感じていないと指摘し、「なんのためにやるのか」と厳しく批判。党として、マイナンバー問題追及チームを来週立ち上げると表明し「紙（やプラスチック）の保険証廃止の撤回を迫るたかひに全力を挙げる」と語りました。

岸田政権は国民の声に耳を傾けよ

厚生労働省のアンケート調査でも、マイナ保険証を利用した患者の56.5%が、実感したメリットは「特になし」と回答しています。大混乱を引き起こし、さらに自治体や各種団体に多大な負担を背負わせる現行保険証の廃止をやめさせましょう。



参議院議員（東京選挙区選出）

きら・よしこ

吉良よし子

日本共産党

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2023年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

マイナカード混乱

保険証廃止は中止・撤回を



記者会見する小池晃書記局長（6月23日・国会内）



記者会見の動画はこちらからご覧下さい



混乱が広がるマイナ保険証。

日本共産党の小池晃書記局長は23日の記者会見で、マイナカードの普及ありきで自治体や健康保険・年金の諸団体にひも付け作業を急がせ、トラブルが多発した責任を、政府としてきっぱり認め、反省すべきだと指摘。

「不安を払拭するというのであれば、来年秋の保険証廃止はきっぱりと中止・撤回すべきだ」と強調しました。

別人の情報ひも付け 「命にかかわる」

開業医の多くが加入する全国保険医団体連合会の調べでは、マイナ保険証に別人の診療情報がひも付けられていた事例も多数発見されています。別人の情報に基づいて医療行為や薬剤投与が行われれば命に関わります。

窓口で10割負担も

患者の保険資格を確認できず「10割負担を請求した」ケースは同会の調査・推計で1291件にのぼりました。

マイナンバートラブル 追及チームを立ち上げ

小池氏は、保険証と同カードを一体化したマイナ保険証のメリットを大半の利用者が感じていないと指摘し、「なんのためにやるのか」と厳しく批判。党として、マイナンバー問題追及チームを来週立ち上げると表明し「紙（やプラスチック）の保険証廃止の撤回を迫るたかひに全力を挙げる」と語りました。

岸田政権は国民の声に耳を傾けよ

厚生労働省のアンケート調査でも、マイナ保険証を利用した患者の56.5%が、実感したメリットは「特になし」と回答しています。大混乱を引き起こし、さらに自治体や各種団体に多大な負担を背負わせる現行保険証の廃止をやめさせましょう。



ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2023年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党